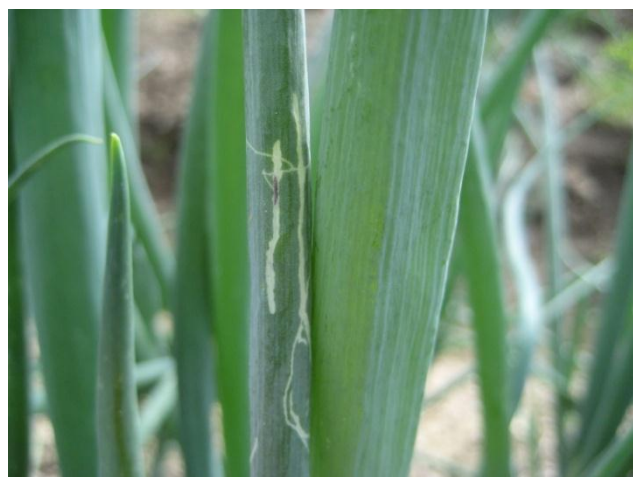


ネギハモグリバエ (stone leaf miner)

Liriomyza chinensis Kato



ネギの被害(産卵痕: 白い点)



ネギの被害(白い筋)

発生生態

成虫は体長約2～3mm前後の小さなハエで、ネギ、タマネギなどのネギ属植物だけに寄生します。春から秋に5～6回発生しますが、通常は春と秋に多くなります。

幼虫は葉肉内を食害しながら前進し、食べられた部分は白い筋のようになります。

防除対策

生育初期に加害を受けると、枯死したり、食入部付近から葉の奇形を起こすため、早めの防除に努めます。定植や土寄せ時に粒剤を施用すると効率的に防除を行うことができます。